

急性胃腸炎の治療を受けられる患者様へ

ID番号

氏名

様

担当医師名

担当看護師名

月日 項目	入院	2日目	3日目	4日目	退院
目標	処置に伴う痛みを最小限にし、ご家族の不安が少なく入院できる。	安全に点滴治療が受けられる。 脱水が改善し、下痢や嘔吐の回数が減少する。		食欲や元気が見られる。 点滴が無事に終了できる。	退院基準 発熱や嘔吐がなく、食欲が回復する。
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・24時間点滴を持続で行います。 ・必要に応じて、抗生剤を投与する時もあります。 ・内服薬は、医師に確認します。お手持ちの内服薬がありましたら、看護師に渡してください。 ・尻が赤いときに  を処方します。  でお申し出ください。	・点滴は続きます。 ・水分が飲めるようになったら、整腸剤の内服薬を開始します。 	・点滴の速度が減るかもしくは終了になります。 ・内服薬は飲みましょう。整腸剤でも下痢が治まらないときには、看護師にお申し出ください。 		
検査	・採血、必要に応じて尿検査やレントゲンを撮るときもあります。 ・便の検査も行います。  	・症状の改善が見られないときは、適宜検査を追加します。 			
活動・安静度	・ベッドで安静にお過ごしください。 ・感染力が強いので、許可が出るまではお部屋で過ごしましょう。 	・お子様が、元気が出てきても、まだ感染力は強いのでできるだけお部屋で過ごしてください。 			
食事	・おなかを休ませるために、絶食もしくは水分のみ可能です。  	・水分を飲んでも異常がないときは、回診後屋からお食事を出します。(アレルギーがある場合はお申し出ください) 	・胃腸炎は食事療法も大切です。食事内容でご希望があれば、医師・もしくは看護師にお申し出ください。油っこい物、甘すぎる物、冷たい物は食べないようにしましょう。	・退院後は、徐々に普通のお食事に戻してください。	
清潔	・必要に応じて、体を拭きます。 	・点滴を行っている間は体を拭きます。オムツを使用中のお子様には、お尻を洗います。 ・看護師が点滴部位をきれいにします。 		・退院後は入浴していいです。	
排泄	・トイレの後はしっかり手洗いをしてください。 ・オムツは指定の場所に捨ててください。 		トイレまで歩くのがつらいお子様には、ポータブルトイレをお貸しします。  		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・病棟内をご案内します。 ・トイレの使い方やオムツの捨て方の説明をし。 	・お食事が始まったら、胃腸炎のホームケアについて書かれているパンフレットをお渡しします。			・退院の指導をさせていただきます。
	入院中のお願い お子様の安全のために、ベッドの柵は必ず上げてください。サークルベッドの場合、ちょっとしたすきに落ちたりすることもあります。必ず、上段まで上げておいて下さい。				
	症状によっては予定通りにいかないときもあります。ご了承ください。				